

市民講座「がんよろず相談 in 神戸 大腸がんと言われた時～専門医による治療の最前線」

現在、日本人の3人に1人は、がんで亡くなっている。中でも大腸がんは食生活や生活習慣の影響から、年々増加傾向にある。大腸がんを知り、よりよい治療を選択するための講座「がんよろず相談 in 神戸 大腸がんと言われた時～専門医による治療の最前線」(神戸新聞社主催、武田薬品工業共催)がこのほど、神戸新聞会館ホールで開催された。大腸がん治療の最先端で活躍する専門医の講演に、訪れた人たちは熱心に聞き入っていた。

正しい情報で最適治療

講演①「大腸がんの現在、過去、未来」



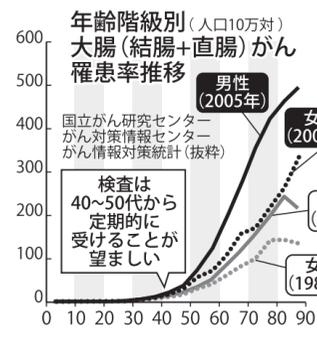
加藤 健志氏 1989年、関西医科大学卒業。真面目市立病院外科部長、がん診療推進部長などを歴任。2011年から現職。

加藤 健志氏

関西労務病院 下部消化器外科部長
私が医師になった25 状態腸にできるものが年々増え、大腸 7割で、進行度合いにがん治療は大きく変わってきた。当時は、い

私が医師になった25 状態腸にできるものが年々増え、大腸 7割で、進行度合いにがん治療は大きく変わってきた。当時は、い

体への負担軽い手術法主流に



化学療法はかつては、大腸がんには効果がなかった。今では、大腸がんは根治を目指し、早期発見するための検査を受けていた

く、身体への負担も軽いTANKO(タンコ)手術も増えてきた。ただ、手術が難しい

がんは早期治療での治療率が高いので、早期に発見し、早期に治療を受けることが大切だ。最近、腹部に複数の穴をあけるだけの手術が行われるようになった。これは、腹部に傷を残さず、手術後の回復も早いという利点がある。また、人間がロボット

がんは時間を与えてくれる病

開会あいさつ

がんは時間を与えてくれる病。がんは時間を与えてくれる病。がんは時間を与えてくれる病。がんは時間を与えてくれる病。がんは時間を与えてくれる病。

辻 晃仁氏

講演②「大腸がんを斬る」



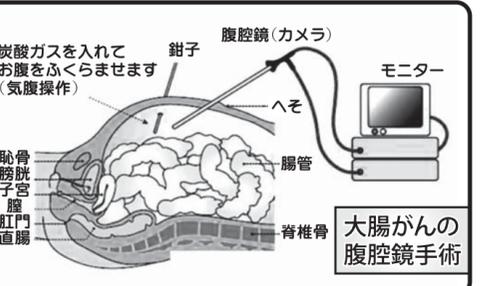
小高雅人氏 1997年、高知医科大学(現・高知大医学部)卒業。国立がんセンター大腸がんセンター外科部長を経て、2013年から現職。

小高雅人氏

2人に1人はがんに。がんは時間を与えてくれる病。がんは時間を与えてくれる病。がんは時間を与えてくれる病。がんは時間を与えてくれる病。

肛門温存、専門医に相談を

豊富な医師を選ぶことが大切だ。がんの場所が肛門に近いと、腸と合わせて肛門を切除する。肛門を絞める内括約筋と外括約筋を切除してしまうと、肛門の機能が失われる。そのため、腹部の左側に穴を開けて人工肛門を作り、パウチをつけて便をためる。人工肛門の管理は患者の負担が大きく、臭いや漏れ、周囲の皮膚のたれなどが気になる人も多い。



体質よりも食事内容が影響



辻 晃仁氏 1990年、岡山大学医学部卒業。高知県立中央病院内科部長、高知医療センター腫瘍内科部長などを歴任。2013年から現職。

辻 晃仁氏

がんは告知されるに緩和治療を開始する。がんは告知されるに緩和治療を開始する。がんは告知されるに緩和治療を開始する。がんは告知されるに緩和治療を開始する。

- 根拠のない健康情報の見分け方... 学会で発表を強調していたら怪しい、成分を強調していたら怪しい、ネズミの実験だったら怪しい、体験談ばかりは怪しい、完治する治療は怪しい、何にでも効く治療は怪しい

まとめ「みんなで取り組む大腸がん治療」

かかりつけ医と信頼関係を。かかりつけ医と信頼関係を。かかりつけ医と信頼関係を。かかりつけ医と信頼関係を。かかりつけ医と信頼関係を。